

2025年7月13日



報道関係者各位

特定非営利活動法人 国際ボランティア学生協会

**世界の里海のトップランナー、大学生 136 人が未来へとつなぐ！**  
**「ひなせかき祭」運営補助と鹿久居島での海岸清掃を実施しました！**  
**2026年2月20日(金)～2月23日(月) 岡山県備前市日生**

特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会は、2026年2月20日～23日までの4日間、全国から集まった大学生136名とともに岡山県備前市日生諸島にて里海保全活動を実施しました。本活動は、「人が関わることで里海を守る」「日生に賑わいをもたらす」という持続可能なサイクルの構築を目指し、地域の基幹産業である牡蠣をテーマにした祭りの運営補助や、漂着ごみの回収を行いました。

このイベントは、次世代へ豊かで美しい海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。



## イベント概要

- ・ **開催概要** ひなせかき祭の運営補助、鹿久居島での海岸清掃、環境学習ワークショップ
- ・ **日程** 2026年2月20日(金)～2月23日(月)
- ・ **開催場所** 岡山備前市日生町日生、渚の交番ひなせうみラボ
- ・ **参加人数** 特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会(IVUSA)の大学生 136 名、事務局 1 名の計 137 名
- ・ **協力団体** 一般社団法人みんなでびぜん、備前市、かき祭実行委員会

### 鹿久居島での海岸清掃活動

2月21日は、牡蠣を育む里海環境を守るため、鹿久居島にて大規模な海岸清掃を実施しました。学生たちは1時間半という限られた時間の中で、45リットルのごみ袋119袋分にも及ぶ漂着ごみを回収しました。海ごみは海洋生態系や景観に深刻な影響を及ぼす課題であり、学生のマンパワーを活かした活動を通じて、里海保全への意識を地域と共有する機会となりました。



### 「ひなせかき祭」運営補助と IVUSA ブース

2月22日に開催された「ひなせかき祭」では、学生が地域住民と一丸となって祭りの熱気を支えました。IVUSAが出店した飲食ブースにおいて、地域の恵みを活かした「牡蠣の味噌汁」を346食販売し、来場者へ日生の牡蠣の魅力を直接届けました。また、ワークショップブースでは、子どもたちと一緒に「万華鏡づくり」を実施しました。この万華鏡には海岸で回収されたマイクロプラスチックを使用しており、制作を楽しみながら海洋プラスチック問題について考えるきっかけを提供しました。



### 「語り部養成プログラム」の実施

活動最終日の2月23日には、日生の里海を未来へ語り継ぐ人材を育てる一步として「語り部養成プログラム」を実施しました。学生たちは事前学習を通じ、人の手が加わることによって生物多様性が保たれる「里海」の仕組みや、海洋酸性化・海ごみ問題といった深刻な課題について深く議論を重ねてきました。当日は、班ごとに考案した体験型ワークショップの成果を発表しました。今後は、地域住民の方々から日生の知恵や経験に基づくフィードバックをいただき、学生自らが「語り部」の役割を担い、地域の皆さまと対話を深めることで、日生の里海の価値を次世代へと繋ぐ確かな一步を築いていきます。

#### <団体概要>

団体名称 : 特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会

URL : <https://www.ivusa.com/>

活動内容 : 「熱意は人を動かし、社会を動かす」をモットーに国際協力・環境保護・地域活性化・災害救援・子どもの教育支援の5つの分野で、大学生が中心となって様々な活動をしています。



#### 日本財団「海と日本プロジェクト」

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>

<お問い合わせ先>

団体名：特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会

担当者名：清水 款士

電話：03-3418-1840

メールアドレス：[ivusa.hinase@gmail.com](mailto:ivusa.hinase@gmail.com)